

三休むかしばなし

「ヨーキング・ドリンクイーン・三休さん 仙台大合宿」

三休さん

(主題歌)「いざ行け!きのこ軍団」
信じられるか このメンバー
日本最強の きんこ軍団
ヨウキンズと仙台と菌懇と
いろんな団体が参加した
「高いところはやだ!」ヨーキング
「朝まで飲もう!」ドリンクイーン
「むかしばなし!」三休さん
ひとりひとりがきのこの数寄者
徒党を組んで きんこを探す
スーパー スーパー
スーパーきのこ軍団
スーパーきのこ軍団

むかしむかしあるところに三休さんという人があったそう。

三休さんは山城国三休寺に住んでおっの、京で活動するヨウキンズに参加してあるのじゃが、チバキンズでも活動しておったのじゃ。

全国各地ではいろんなきのこ団体が活動しておるのじゃが、マッシュキングダム総会のアマチュア団体コーナーでの展示など以外では交流する機会というのはなかなかないのじゃ。これまでも信州での合同合宿



ホールで記念撮影する合宿参加者

というのはあったのじゃが、ほかにはあまりないようじゃのう。広い日本では、地方によって同じきのこでもちがいがあるようじゃし、こちらの地方であるものがこっちではないということもあるからの、情報交換も必要じゃのう。

そこで、ヨーキング^{*1}とドリンクイーン^{*2}、ゴードン^{*3}が中心となって、仙台での合同合宿が計画されたのじゃ。各地の団体が一同に会して交流しようと言う試みじゃ。

メールなどを通じてヨーキングが参加を呼びかけると、なんと120名以上の参加者があったのじゃ。最初は参加を希望しておっても、事情で断念したプレジデント^{*4}、

1 主に京都で活動する「ヨウキンズ」の首領。某ミュージシャンの名前と似ているがまったくの偶然。

2 仙台藩在住。精力的に各地に出かけ、主にラマリアを調べる。大変タフで朝までオールオッケー。今年からは鳥取で学生になる。

3 キンコンズ等に所属。主にルスラを得意とし、マッシュキングダム総会ではアマチュア団体コーナーをとりまとめる。

サーバートロン^{*5}、ブリーダー^{*6}のような場合もあったのじゃが、それでも100人以上が参加する、史上初めての大会宿なのじゃ。それにしても豪華なメンバーよのう。最近ではこんなメンバーが一同に会することなどはマッシュキングダム総会でもまずないじゃろうのう。北から青森、仙台、千葉、石川、菌懇、三重、関西、愛媛、広島、山口、九州など各地から参加者が来ることになったのじゃ。「日本最強のきのこ軍団」というのもあながち間違いではないじゃろう。開催に向けて、ヨーキングら世話役では参加者に注意事項や持ち物などを通知したのじゃが、まるで学校の修学旅行のようじゃ。

仙台は思ったより近かった

三休さんは今まで東北に行ったことがないからの、とても楽しみにしておったのじゃ。地元にはないきのこがたくさんあるかと思うとわくわくするのう。

合宿は7月27日から30日までなのじゃが、ヨーキングがその前日から仙台に行くというからの、三休さんも行くことにしたのじゃ。さらに、修兵衛どん^{*7}もその日に来るというのじゃ。修兵衛どんはヨーキングが決して乗れない飛行機での参加じゃ。

26日は朝の6:31に京都を出る新幹線に乗っていったのじゃ。今まで東北などとても遠いイメージがあったのじゃが、仙台までじゃとなんと最速4時間ほどで行けるのじゃ。思ったよりも近いものよ。そうして東京で乗り換えて、11:00には仙台に到着した三休さんとヨーキングじゃったが、ちょっとしたアクシデントがあったのじゃ。

東京で東海道線を降りて、東北線に乗り換えようとしたときじゃ。改札を通ろうとした三休さんはなにか手元がさびしいことに気が付いたのじゃが、なんと宿舎に展示するため持ってきていたはずのヨウキンズポスターを電車の中に忘れてきてしもうたのじゃ。これはたいへんじゃ。あわててホームにもどって座席付近を見てもないのじゃ。電車はもうすぐ車庫に向かうというのにどうすればいいのじゃろう。駅員に聞くと、忘れ物として回収されておったのじゃ。よかったのう。

採集コースの下見に出発

仙台に到着したヨーキングと三休さんはドリンクイーンと落ち合い、まずは市内の宿舎に向かったのじゃ。ちょうどこのころ、仕事でこちらへ出張してきていた修兵衛どんとも落ち合い、自動車で蔵王方面へでかけたのじゃ。蔵王のほうは今回の採集コースのひとつじゃから、下見もかねておるのじゃ。3人を乗せた車は高原地帯に入り、どんどんと山を登っていったのじゃ。途中、路肩にきのこが生えておるのも見えたのでこれは期待できるのう。ちょうど昼頃じゃったので、途中で昼飯を買うことにしたのじゃ。ドライブインみたいな店で買い物しておると、ふと、あやしげな飲み物が目に入ったのじゃ。「コロナパイン」とかいう、聞いたこともないもので、おそらく地方限定マイナードリンクなのじゃろう。これはぜひ飲んでみなければならぬ。「無果汁」と書いてあるとおり、原材料は砂糖と酸味料と香料と黄色4号じゃ。飲んでみるとま

4 博物館勤務でチバキンズの世話役。京都のホテル「ホワイトハウス」に宿泊したことがある。

5 都大学助教授。かつてヨウキンズのメールサーバーを管理していた。得意分野はアマニタ。

6 松茸増殖などを研究していたが昨年単身赴任でバード大学教授。マッシュキングダム幹部。

7 全国をかけまわる越後屋番頭。商売上手なマダムキラー。

さしく「砂糖水」じゃった。瓶を見ると、「三ツ矢サイダー」と書かれてある。三ツ矢サイダーの瓶をリサイクルして使っているのじゃ。店では飲み終わった瓶を回収しておったようじゃが、三休さんは記念に持って帰ったのじゃ。

一行は滝がよく見えるという絶景ポイントにやってきたのじゃ。付近の森もとてもいい感じで、いかにもきのこがありそうじゃ。車を止めて記念撮影し、展望台に行ったのじゃ。そこで昼飯を食って景色やきのこの写真を撮っておると、外国人観光客の一行がなんだとたずねるので「マッシュルーム！（訳：これはきのこです。）」という、「エディブル？（訳：食べられるんですか？）」とか聞いてきたりするのじゃ。展望台は「不動滝」と「三階の滝」が見え、遠くに蔵王山頂付近も見える絶景ポイントじゃ。この日はとてもいい天気ですくまでよく見えておったのじゃ。よかったのう。

だんだんと山を登るにつれて樹木が低くなり、いかにも高山帯というかんじじゃ。未舗装の林道？まで入り、車を止めて森に入ってみたのじゃ。高山植物などもあっていいかんじの森じゃが、きのこは見あたらない。標高の高い所ではまだ寒いからかのう。山頂付近の展望台まで来ると、車を降りたのじゃ。ここまで来ると、風も強くて寒い。ここらはほとんど森林限界で、岩場や草地が多いのじゃ。山頂には火口に水がたまった「お釜」があるのじゃ。

やがて頂上付近に到着した一行は、お釜を見学したのじゃ。火口湖のお釜は時間帯によって水の色が変化するというのじゃ。せっくなので三脚を建てて撮影しようとしたのじゃが、風が強くてとても寒いの

じゃ。もう少し先に本当の山頂があるのじゃが、とてもそこまで登ってはおられん。見学を終えた一行は市内へと戻ったのじゃ。

牛タン、タタミワシ、白松ガ最中・・・

夜はホテル近くの居酒屋で宴会じゃ。しかし、三休さんは、前日は午前3時までかかって名刺を作っておったりしたものじゃから、飲んでおるうちに爆睡してしもうたのじゃ。目が覚めると10時ごろに到着したジャン貴帝^{*8} やミスターブルース^{*9} も合流しておったのじゃ。なんでも、2人は牛タンを食べるのを楽しみにしておったらしいのじゃが、残念なことにここは牛タン屋ではなく、すでにメニューの牛タン料理もなくなっておったのじゃ。悔やまれるのう。ゴードンや地元のキノコス^{*10} も同席。センドインズは「ざる」が多いのかわからぬが、キノコスもこのときグラス3杯の冷酒セット「きき酒セット」や焼酎ロック3種類などを飲んでなおも平気じゃった。

仙台に来たのであれば、やはり名物牛タンは食さねばならぬ。ジャン貴帝らが来る前にみそ漬けを食べたのじゃが、普段焼き肉屋で食べる牛タンは紙のように薄いのに、これは結構な厚みがあり柔らかかったのじゃ。海にも近い仙台は、海産物もよいらしくての、さんまのさしみなんか脂がのってまいうーじゃのう。

他にも名前は知っておったのじゃが、タタミワシははじめて見たのじゃ。ちいさいじゃこのようなのかためて板状にしてあるのじゃが、これが漫画「あさりちゃん」に出てくるあさりの姉タタミの由来じゃ。午前0時ごろになるともう店じまいじゃというから、三休さんらはホテルに戻ったの

8 大分のきのこ指導員。ヨウキンズ創立時メンバーのひとり。

9 宮崎の博物館勤務。南国に住んでいるため、北に行くと寒がる。

10 地元仙台できのこ栽培をしている。

じゃが、それでもドリンクイーン、ゴードンだけではそのまま居座っておったそう。

2日目の朝、ホテルのまわりを散歩していると、ふとある店が目に入ったのじゃ。「GUNDUM SHOP BAR」という店らしい。ホワイトラビット^{*11}が見たらさぞかし入ってみたくなるじゃろう。市内でやたらと看板が目についた仙台名物「白松ガ最中」。その店がホテル近くにあったのじゃ。9時くらいにオープンしておったので、さっそく試しに買って見たのじゃ。これでうまければ土産として買うことにしようかのう。

「戒律」が厳しい宿泊施設

10時くらいに駅に出た三休さんら先発隊は、そこで到着した参加メンバーと合流し、みんなでマイクロバスに乗る場所まで歩いていったのじゃ。駅から降りるエスカレーターをまちがえて引き返したりうろろしながらバスが待つ場所まで歩いていくのこ軍団。一行はマイクロバスに乗り込み宿舎のある泉が岳へ向かったのじゃ。途中、高台に立ち並ぶ住宅地が見えたのじゃがこの一角にドリンクイーンの邸宅があるらしい。宿泊地である「泉が岳自然の家」に到着すると、さっそく集会が行われたのじゃ。ヨーキングのあいさつにはじまり、所長のありがたいお話、職員によるリカちゃん人形を使ったふとんの使い方講座などが行われたのじゃ。ここはよくある「青少年山の家」みたいな県営の施設じゃからの、「戒律」が厳しいのじゃ。起床から食事、風呂、消灯時間など決められた時間割に従って生活せねばならぬ。はたしてみんなちゃんと守れるかのう。

いよいよキノコ探しに出発！

翌28日はいよいよ採集初日じゃ。参加者はいくつかのコースに分かれて採集するのじゃが、三休さんは修兵衛どんとクイックウォーク&ミズゴージャス^{*12}の車で蔵王へ行ったのじゃ。しかし、最初はずっといい天気だったはずの週間予報がいつのまにか雨になったのじゃ。それにはわけがあったの、むかしから合宿で修兵衛どんとジャン貴帝と一緒にいると台風が来たり天気が大荒れになるというジンクスがあるのじゃ。今回もその「ダブルパワー」が健在であるということが証明されたというわけじゃ。最初に探索した蔵王の高い場所ではきのこが少なく、参加者はあまり発見することができなんだようじゃ。三休さんらは少し下のほうできのこをさがしたのじゃが、最初にいいかんじの森とおった場所あたりでイグチなどを採集することができたのじゃ。三休さんらは、道中にあった店が気になっていたの、覗いて見たのじゃ。「山菜ときのこシリーズ」って「シリーズ」というのがなんとも味わい深いのう。店頭に並んだきのこの数々。みんな水煮の袋詰めじゃが、「あみこ」とはアミタケ、「おりみき」というのはナラタケなんじゃそう。ということは、「エセオリミキ」というのは、ナラタケの偽物ということかのう。合宿では蔵王のような高山帯から里山まで数カ所にわかれて採集したのじゃが、今回は里山や海岸のほうがたくさんあったようじゃ。今回は地元仙台のメンバーが運んできた顕微鏡や合宿のために用意された資材を使って観察や同定が行われたのじゃ。同定作業は宿舎の2つの研修室を借りて行われ、採

11 つくばの薬剤師。ミケナを得意としている。ガンダムファン。

12 チバキンズ副会長で早足の夫となんでもゴージャスな妻のコンビ。

集地ごとにきのこが並べられたのじゃ。さらにもうひとつの研修室では各団体の活動を伝えるポスターが貼られたり、グッズや書籍の販売が行われたのじゃ。ネット書店を主宰するハマー・チャン^{*13}はここでも臨時開店して、本のほか、いところが手がけるという革製品も販売しておった。中には最近改訂されたフィールド用図鑑のブックカバーなんかもあるのじゃ。

宿舎の1階にある食堂で決まった時間にみんな交替で食事をするのじゃが、一度に100人以上集まると混雑するのう。普段の食事は決まったメニューなのじゃが、この日の夕食は特別に懇親会ということで、たくさんの料理が並んだのじゃ。この宿舎は禁煙・禁酒じゃからの、みんなおとなしく規則正しい生活をしておるのじゃ。懇親会も「宴会」ではないからの、お酒抜きの食事会じゃ。懇親会が終わると、三休さんらは規則正しく時間どおりに就寝したのじゃ。

雨の中、ミミブサタケを見つけた

ダブルパワーのおかげで採集2日目の29日も雨じゃった。この日三休さんは、宿舎からわりと近い泉が岳周辺をまわることにしたのじゃ。近くのスキー場リフト乗り場近くの雑木林で、この辺に出るというミミブサタケを見つけたのじゃ。三休さんは思わず「アター！」と叫んだのじゃ。雨が降っているとはいえ、まだましなので写真を撮ることができるわい。

このミミブサタケの下には菌核が埋まっておるので、三休さんは慎重に周辺の土とともに掘り出したのじゃ。深いかと思われたのじゃが、案外小さかったのじゃ。掘っておる最中にミミブサタケからは孢子が煙



見つけたミミブサタケ

のように吹き出しておったのじゃ。続いて三休さんらはモミ林のある場所にいったのじゃ。ここでは8月初旬にオオモミタケが出るというのじゃが、この日はなかったのじゃ。それにしてもなんと立派なモミの木よ。

昼になったので、昼飯にするのじゃが、合宿では参加者はみな弁当を持っておるのじゃ。しかし、案内人が地元の店に案内するというので、「田舎レストランふるさと」にやってきたのじゃ。店はいかにも田舎の農家を改造したような趣じゃ。レストラン敷地の片隅に、切り株に絵を描いた衝立が置かれておったのじゃが、よく見ると、なぜかきのこを担いだ人物が描かれておるのじゃ。不思議じゃのう。参加人数も多いので、店の中ではなく、庭先で弁当を食いながら、案内人おすすめの雑煮を注文したのじゃ。庭先でマンネンタケやアラゲコベニチャワンタケ？なんかを見つけたしたのはきのこ団体の性かのう。雑煮は醤油ベースで、シイタケやマイタケのほかに野菜も数種入っておって、さらにもちは3個も入っておって、これで350円じゃ。なかなかまいいうーじゃのう。これが仙台風かのう。

ツチアケビが咲いておる

昼からは、伊達政宗の息子が建立したという寺を案内されたのじゃ。住職のお話で、

13 修兵衛の生き別れの兄ともいわれる。洋書の輸入販売を手がけるネット書店を主宰する。

本堂に展示されておる、江戸時代の剣術の免許書を見せてもらったりしたのじゃ。集落からはずれて、山の中にぽつんと建っておる静かな寺じゃ。三休さんとしては自分の住んでおる三休寺のほうがいいがの。寺についてさっそく、駐車場のすぐ横に、ツチアケビが咲いておるのが見つかったのじゃ。ツチアケビはナラタケが菌根を作っておるという蘭で、今まで実は見たことがあったのじゃが、花はほとんど見たことがないのう。色は褐色系で地味じゃが、こういう場所では目立つのう。この場所では4株もあったのじゃ。寺を見学した三休さんらは、周囲の森できのこさがしをしたのじゃ。



ナラタケが菌根を作るツチアケビの花

寺の周囲の竹林や広葉樹林を歩いておると、ドクツルタケやタケリタケ、ツチアケビなどが見られたのじゃ。周りを一周して寺に戻ってくると、ササクレヒトヨタケがあったのじゃ。また、寺の境内にはすこしかわった腹菌類があったのじゃ。ノウタケにしては少しかわっとるのう、ということで持ち帰られたのじゃが、後でティガー^{*14}らの調べによって、ダンゴタケの仲間というめずらしいものじゃと判明したのじゃ。ホコリタケなどと比べても口の開き方がかわっておるのう。

この日に他の場所で採集されたものには、断面が上下とも青くなる「ヤマナラシノアオネノヤマイグチ」という長い名前のイグ

チやいろんなハウキタケがあったのじゃ。トビイロハウキタケは話に聞いたり写真を見たことはあるが、実物を見たのははじめてじゃのう。全体は茶色いのじゃが、先端部が水色なのじゃ。他にもめずらしいルストラは、カラーリングがまたかわっておるのじゃ。カサの中央部が紫色で、周辺部が草色、柄がピンクで、さわったり傷つくと黒く変色するのじゃ。こんなのははじめて見たのう。同じきのこでも地域によって解釈がちがうようじゃが、「アイバシロハツ」とされたものはたしかに柄の付け根とヒダは青っぽいのじゃが、関西などではこれはシロハツの範疇に含まれるものじゃ。しかし、仙台ではこれがアイバシロハツなのじゃそうな。

「鬼の目にも涙」の解散式

最終日の30日は朝から解散式が行われたのじゃ。戒律の厳しい宿舎では、毎日、反省ノートなるものを書くのじゃが、この日の朝に提出せねばならぬのじゃ。三休さんの部屋では模範的にちゃんと書いて、掃除して部屋を出たのじゃ。ベッド横にはふとんの畳み方の写真がはっておったのでばっちりじゃ。解散式では、参加団体の代表からあいさつがあった（チバキンズはクイックウォーク）後、世話人を代表してドリンクイーンがあいさつしたのじゃ。去年からその立ち上げから準備、現地での調整などをしてきたものじゃから、それがとうとう終わりを迎えたということで、思わず涙があふれてしまうたのじゃ。それをうけたヨーキングの「鬼の目にも涙」という言葉が受けたのう。そして、参加者はそれぞれバスや車で宿舎を後にしたのじゃ。これが

14 中学生のころからその存在が注目されていた人物。腹菌類を得意とする。

らまっすぐ帰るもの、寄り道するものいろいろじゃ。やはりというか、忘れ物がいくつかあったがのう。

ニンジャライダーはどこに寝たのか？

三休さんは修兵衛どんやエディタ^{*15}、九州軍団と同じ部屋に泊まったのじゃが、同室のニンジャライダー^{*16}は夜はいつもスタジオカーで撮影しておるので、門限までもどれず部屋では寝ておらんのじゃ。夜中に外からときどきフラッシュが光るのが見えるので、知らぬと稲光かと思ってしまいうのう。

牛タン定食（塩）を食べた

三休さんは宿舎からゴードン号に乗せてもらい、泉駅前に向かったのじゃ。ヨーキングら世話人もいっしょにデパートのレストランに入り、お茶を飲んで解散したのじゃ。ミスターハード^{*17}とホワイトラビット、ゴードンらは車で帰り、ドリンキング^{*18}や修兵衛どんは飛行機で、三休さんはヨーキング・フィッシャーマン^{*19}と新幹線で帰ることにしたのじゃ。

仙台駅で昼飯を食うことにしての、店を探しておったら、偶然母上一行らと顔を合わせたのじゃ。そして、駅の牛タン通りの店で牛タン定食（塩）を食べたのじゃ。テーブルスープと麦飯がついておってなかなかあうのう。他にもいろんなメニューがあっ



駅の牛タン通りの店で牛タン定食を食べた

たので、今度はじっくりと味わいたいものよ。

交流が進んで欲しい

今回の合宿は、時間的な制約があったり、天候に恵まれなんだことはあったが、はじめて東北に行ったこと、いろんな団体の人らと会えたのはよかったのう。こんなことは毎年はずかしいかもしれんがの、これから交流が進んでいくといいのう。そういえば、ドリンクイーンは今年は鳥取に行くらしいからの、次は鳥取合宿やもしれぬのう。

そういえば、プレジデントが参加できなかったわけはの、どうやら、博物館でアクシデントがあったらしいのじゃ。どっぺんぱらり。

15 マウンテンアンドバレイ社で雑誌や図鑑の編集に携わってきた人物。

16 バイクやスタジオカーできのこを求めて走り回り白バック撮影に定評がある。きのこを使ったスタを作る。記念撮影時に高い所に登る。

17 硬質菌の権威。国内研究者の中枢機関マッシュキングダム幹部。今年の総会が地元で開催される。

18 九州軍団の一員。熊本からでもよく遠くの合宿に参加する。実は名前ほど飲めない。撮影ではよく配置換えする。

19 現在のヨウキンズサーバーの管理者。